



## ▼EGおおさか推進ネットワーク 加入状況

H30年度末 120機関336名

## ▼地域経済コンシェルジュ養成研修

H30年度 研修生参加登録24名 ⇒ 修了生22名

(参考：聴講生参加登録 22名)

### ■講座一覧 (H30年度)

日時		講義タイトル	講師	受講者
6月29日 (金)	13:00~	1 EG概論	拓殖大学政経学部：教授 山本 尚史 氏	26名
	17:00	2 地域を育てる	認定NPO法人グリーンハレー：理事 大南 信也 氏	
8月1日 (水)	13:15~ 17:00	3 伴走する (顧客価値を考えるワークショップ)	福岡大学：産学官連携コーディネーター 中川 晋巳重 氏	23名
8月24日 (金)	13:15 ~17:00	4 マクロとミクロ	早稲田大学大学院：教授 友成 真一 氏	23名
		5 顔の見えるネットワーク論	MEBIC扇町：所長 堂野 智史 氏	
9月26日 (水)	13:00~ 17:30	6 データを活かす 図書館活用ワークショップ	大阪産業経済リサーチセンター：松下 隆氏 大阪府立中之島図書館：泉 有起氏 大阪府立中央図書館：小笠原 弘之氏	25名
		7 ヒアリング課題について	りそな総合研究所：リーナルビジネス部リーナルビジネス部長 藤原 明 氏	
9月~10月		7 企業ヒアリングの実施	—	
11月2日 (金)	13:15~	8 産学公をつなげる	科学技術振興機構：イノベーション拠点推進部 マッチングプランナー 佐藤 利雄 氏	24名
	17:00	9 図書館にみる情報の力	鳥取県立図書館：支援協力課 課長 小林 隆志 氏 国立国会図書館関西館：大瀧 徹也氏 大阪市立中央図書館：利用サービス担当係長 岡本 泰子氏	
11月22日 (木)	13:15 ~ 17:00	10 聞き・書き・物語る力	りそな総合研究所：リーナルビジネス部リーナルビジネス部長 藤原 明 氏	22名
		11 課題を見つける (ワークショップ)		
12月14日 (金)		12 課題をつなげる (ワークショップ)	りそな総合研究所：リーナルビジネス部リーナルビジネス部長 藤原 明 氏	23名
		13 EGアイデア・ワークショップ		
3月20日 (火)	13:30 ~ 17:30	成果発表会 (第3回EGおおさか定例交流会)	地域経済コンシェルジュ養成研修の成果発表 (ショートプレゼン会)。	

1 講座～5、8、9 講座（座学中心）

1 時間30分講義×2名+2名を交えた質問・トークセッション（30分）+講義のふりかえり・グループ討議

## 【研修の様子(一部)】



講義1：山本教授「EG概論」

- （EG）の歴史や背景とその効果について
- （地域経済コンシェルジュ）の役割、資質、活動例

講義2：「伴走する」

- コーディネーターとは、「ミツバチ活動」
- 顧客価値を考える「ワークショップ」



6 講座、10 講座～13 講座（ワークショップ）、7 講座（企業ヒアリング）

①大阪産業経済リサーチセンター 松下氏、府立中之島図書館 泉氏、府立中央図書館 小笠原氏

②りそな総合研究所 藤原氏

○図書館活用ワークショップでは、図書館で使える様々なデータベースを用い、企画書を作成した



○りそな総合研究所の藤原氏のワークショップでは、各自が実施した企業へのヒアリング内容をまとめたシートを持ち寄り、具体的にどのような支援ができるかを考えた



## 【研修参加者の声：アンケートから一部抜粋】

- 多彩な講師の方々によるお話が楽しく、毎回参加させていただいた。“人的なネットワークづくりが重要である”ということが、すべての講師の方に共通していると思われる（市町村）。
- もうすでにEGで知り合った皆様と事業とまではいかないものの、連携した取り組みを進めることができています。非常に有意義で貴重な時間を設けてくださり、本当にありがとうございます（市町村）。
- 本研修を通じて、中小企業支援には支援機関同士のつながりが大切であることを改めて気づかされました。特にグループワークでの各支援機関の強味や支援策を踏まえた意見交換は、今後の支援活動に生きてくるものであり、非常に有意義でした（市町村）。
- 以下の理由から、当初の期待を大きく超える内容であったと考えます。受講者は庁内公募により決定されるため、次年度以降参加することは難しいと思いますが、交流会等にはぜひ参加したいと考えています（都道府県）。
  - 理論的な講義と実践的な講義がバランスよく設定され、実学両面において企業支援の基本が理解できたため。
  - 実際に企業支援を行っている講師のメソッドを多く学ぶことにより、企業支援の具体的なアクティビティが整理できたため。
  - 講義後の交流会を通じ、公務員だけでなく、他業種の方との交流が深まったため。
- 自らの能力の限界を感じ、他社（者）との共働について、強く考える機会となりました。また、自身が考えていることを他人に伝える難しさを実感しました。そのことで、自らの表現方法、検討事項のロジカルな構築等、不足していることに気づくことができ、今後は協力者へ説明する際に活用していきます（金融機関）。
- 私自身、29年間メーカー勤務のち公的立場から企業支援へ可能性を知るために今年、支援機関へ転職したところなので、非常に役立ちます。今回、研修で一緒できた方々とは、すでに業務上の交流（機関紙での取材企業の紹介、自機関発信のメールマガジンへの記事掲載、自機関利用ホームページ業者紹介など）をしてきましたが、今後は更に情報交換や業務連携を進めてまいります（公的支援機関）。
- 通常業務の中では得られなかったであろう人脈や知識に出会えるとても良い機会と思いました。本研修で学んだことを業務に活かせるようにします（都道府県）。